

令和4年度補正 歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進

- 歴史的資源を活用した観光まちづくりの更なる推進には、事業化へのハードルや高付加価値化・地域経営体制の確立等が課題。
- 令和5年度は、金融機関と連携し、SPC等のスキームを活用して民間投資を促し、面的に再生させる取り組みを支援するとともに、城や社寺、古民家等における宿泊・滞在型コンテンツを軸に、地域資源をフル活用した面的な高付加価値化を推進しつつ、歴史的建築物等の再建築、情緒ある景観や賑わいの再現等に対して支援することとする。

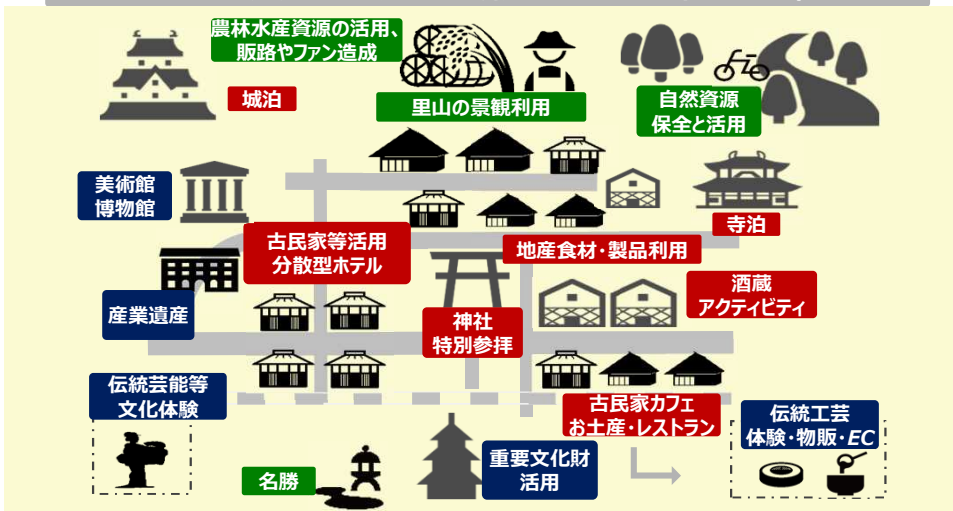
課題

- ◎事業化までのハードル
地方自治体や社寺仏閣、地域金融機関と一体になった観光まちづくりの事業化
- ◎地域経営主体未確立
・歴史的資源以外の地域資源の一体的な活用、及び地域が連携した財源確保
- ◎高付加価値化未確立
・宿泊施設の受入環境整備
・地域の宝である重文クラスの活用
・歴史地区における景観的魅力の低下

事業内容

- 1) 調査事業 (10/10) 初動事業化：最大1,000万円×10地域[①] モデル：最大2,000万円×10地域[①②]**
- ①観光まちづくりに係る伴走支援
(地域の計画策定、金融機関と連携したSPC等による民間投資を促し、面的に再生させる取組支援等(専門家派遣))
 - ②面的な歴史的資源等を活用した観光コンテンツ造成支援
(コンテンツの磨き上げ、複数のコンテンツを活かした面的なモデルツアーの造成等)
例：寺社の枯山水や旧家の庭などを楽しめるツアー、重要文化財・史跡等の活用実証、無形文化遺産の活用(神楽、能等)
- 2) 補助事業 滞在環境整備:2000万円(1/2補助)×30地域[①②] 再建築:5,000万円(1/3補助)×15地域[③]**
- ①歴史的資源の宿泊等環境整備に対する支援(宿泊・飲食施設等の改修・簡易な耐震補強、寝具・家具の購入、設備整備等)
 - ②歴史的資源を活用した滞在拠点の高付加価値化支援(コンセプト策定、プロモーション策定、滞在拠点におけるコンテンツ創出等)
 - ③地域の賑わいを創る歴史的建造物の改修、再建築、及び周辺環境の整備に対する支援

歴史的資源を活用した観光まちづくり(イメージ)



SPCスキーム等を活用した地域経営体制

